

八 阪

大阪市立八阪中学校
学校だより 第2号

平成30年4月25日発行



PTA活動がスタートしました!

4月21日(土)にPTA決算総会が開催され、今年度のPTA役員が承認されました。いよいよ本格的に平成30年度のPTA活動がスタートします。皆様のご協力よろしくお願ひします。

平成30年度PTA役員

会 長	松 永 克 彦	書 記	西川有己子
副会長	森 下 智 之		瀬川由美子
	末 藤 宗 明	会 計	奥 林 智 美
	下 塚 由 美		唐 川 英 子
		会計監査委員長	石 崎 啓 至

1年生一泊移住(5/11~12)

日 時:平成30年5月11日(金)~12日(土)
場 所:京都府立青少年海洋センター(マリーニピア)
京都府宮津市田井小字大池382

- 目 的:①集団生活を通じて、規律ある行動と協力する態度を養う。
②友情を深め、よりよい学級づくりの基礎とする。
③自然に親しみ、自然を大切に作る心を育てる。



3年生修学旅行(5/17~19)

日 時:平成30年5月17日(木)~19日(土)
方 面:富士山麓&鎌倉方面
宿 舎:1日目 ホテル湖龍 2日目 横浜テクノタワーホテル



- 目 的:①事前学習を含めて、クラス別・班別活動を通して、情報を収集し処理する力、また、互いに協調する力、コミュニケーションをとる力を養う。
②集団行動を通して、クラス・学年のつながりを深め、他人を思いやる意識、規律を守る意識、公共心を向上させる意識を培う。
③様々なものを見聞することで、自身の視野を広めると共に、自然の美しさや日本の歴史の一部にも触れることで、旅行先の魅力を感じ取る。

5 月 行 事 予 定

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
1	火	短縮4限 家庭訪問	16	水	3年修学旅行事前指導 SC
2	水				1・2年中間テスト(社数国)
3	木	憲法記念日	17	木	3年修学旅行 (富士山麓&鎌倉方面)
4	金	みどりの日			
5	土	こどもの日	18	金	(英理)
6	日		19	土	
7	月	認証式 いじめを考える日	20	日	
		専門委員会	21	月	3年代休
8	火	耳鼻科検診(3年・2年12)	22	火	
		生徒議会	23	水	SC
9	水	短縮6限 検尿2次 SC	24	木	
10	木	3年中間テスト(社数国)	25	金	3年実力テスト① 職員会議
		1年一泊移住事前指導	26	土	福島区PTA協議会総会
11	金	(英理技家)	27	日	鷺洲小学校運動会
		1年一泊移住	28	月	3年歯科検診
12	土	(京都府立青少年海洋センター)	29	火	耳鼻科検診(1年・2年34)
13	日		30	水	体育大会学年練習 SC (5限-1年・6限-3年)
14	月	1年代休 2年内科検診			
15	火	心臓検診(1年・23年要管) 1年夏服受け渡し	31	木	

<6月のおもな行事>

- 8(金) 体育大会(予備日-12日) 23(土) 土曜授業・進路説明会
20(水) 3年チャレンジテスト 27(水)~29(金) 期末テスト

◆大阪市立小中学校一斉に電話対応時間が設定されます!

5月1日(火)より、平日、小学校(8時~18時) 中学校(8時~18時30分) 以外は、音声ガイダンスが流れ、応答できませんのでご理解ください。

平成30年度「教育目標」

人権尊重の精神を基盤とし知・徳・体の調和のとれた教育を実践し

- (1) 希望を持ち、たくましく生きる
- (2) 自主的に学び、自律的に行動する
- (3) 感謝の心を大切に、自他を尊重する 生徒を育成する

**重点目標 「豊かな心」と
「確かな学力」の向上**

校 訓 「希 望」「学 び」「感 謝」



1. 子どもが安心して成長できる安全な社会

(学校・家庭・地域)の実現

自分の可能性を追求できるように静穏かつ明るい教育環境の中で、生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流しながら、心身ともに健全に成長できる学校生活を、生徒に保障する。社会のルールを理解し自律する力、他者を尊重し思いやる心、適切な人間関係を図るコミュニケーション能力、多様性を受け入れる力等、道徳心・規範意識の醸成に努める。

防災・減災教育や安全教育を実施し、安全を守るための力の育成を図る。

生徒・教職員・保護者のつながりを強化するとともに、社会との連携を推進する。

- (1) 全教職員が情報を共有し、組織的な体制で指導する。
- (2) 学校生活だけでなく将来にわたっての基本となるルールの大切さをきめ細かく指導する。(学校安心ルールの実施)
- (3) 生徒会活動や部活動を活性化し、互いに励まし合い、高め合う集団を育成する。
- (4) 不登校生徒の状況を適切に把握し、より丁寧な取り組みと組織的な体制で指導する。(ミニケース会議の活用)
- (5) SCとの連携・研修を深め、カウンセリングマインドを身につけ生徒に寄り添った指導を推進する。
- (6) 校内行事を有効に活用し、自己有用感や達成感・充実感を味あわせ、生きる力の育成を図る。
- (7) 学校図書館補助員と連携して、図書館の利用を促進し読書活動の充実

を図る。

- (8) PTAや地域と連携し、地域行事への参加を促し、地域社会の一員であるという自覚を持たせる。
- (9) 自ら進んで校内美化に取り組む態度を育成する。
- (10) 「特別の教科・道徳」に向けて、校内研修に積極的に取り組み、道徳教育の更なる推進を図る。
- (11) 地域と連携した防災教育・安全教育を推進する。
- (12) 学校ホームページの充実を図り、学校行事・部活動等の様々な学校の様子を配信し、保護者・地域の方々に「開かれた学校」を創造する。

2. 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための

学力・体力の向上

社会で生き抜くために必要となる基礎的な知識や力の習得を徹底することをめざす。

基礎学力・論理的思考能力を習得し、さまざまな情報をもとに自分の頭で考え、自己の判断と責任のもとに国際社会において力強く生きていける人間を育む。

- (1) 生徒が意欲的・主体的に学習に取り組める指導方法を工夫し「50分間集中した授業」を推進する。
- (2) プロジェクター・タブレットなどのICT機器を有効に活用し、生徒が意欲的・主体的に取り組める授業を工夫する。
- (3) 学習教材データ配信等を有効に活用し、計画的な家庭学習を促し、自主学習習慣の定着を図る。
- (4) 個に応じた少人数授業や習熟度別授業を計画的に実施し、基礎基本の徹底を図る。
- (5) 国際理解教育を推進し、国際社会でリーダーシップを発揮し活躍できる人材の育成を図る。
- (6) 生涯にわたり心身ともに健康で活力のある生活を送るために、基礎体力向上に向けた取り組みを推進する。
- (7) 運動やスポーツに親しむ機会の確保に向け、区役所と連携した取り組みを推進する。
- (8) 地域の協力を得て、職業講話、職場体験学習を実施し、生涯にわたる勤労観や職業観を育成する。